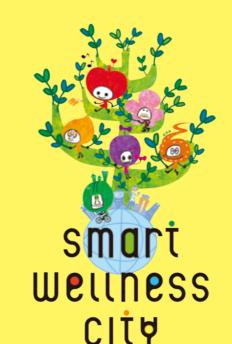
がんは症状が現れてから分かった場合、高い確率で生命維持の見通 しが悪い「進行がん」です。一方、無症状者が対象となる検診で見つ かった場合、早期に発見しやすく、救命率が上がります。胃がんなら 7~8割は「早期がん」で見つかり、抗がん剤を使わず9割が完治し ます。 医師としては、早期発見で助かりやすくなり、 2次検査は昔ほ ど苦しくないと積極的に伝え、受診率を向上させたいです。ただ「私 は大丈夫」と思い込んでいる方には、医療側だけでは限界があります。 例えば、大腸がん検診の便潜血検査で陽性者の発症確率は陰性者の約 40倍ですが、4割の人が放置するというデータがあります。高リスク の方への周知は急務です。健康情報の活用も検討し、医師や薬剤師、 行政、市民が一体となって受診率を上げる必要があります。

肥満や高血糖はがんの危険因子で、予防には歩行などの運動も有効 と言えます。近年は免疫力を利用した治療が注目されています。強い ストレスで免疫は落ちるため、心も体も健康を保つことが大切です。

がん検診で救命率アップを。 予防には心身の健康も





「歩く」と「受診」で健康と幸せを

り組もう!



第2次健康日本2



市では、市民の皆さんの「健康寿命の延伸」と「生活の質(QOL=Quality of life)の向上」を目的に、平成13年度に「健康日本21旭川計画」を策定しました。 現在は第2次健康日本21旭川計画に基づき、健康づくりを推進しています。また、 今年度は「スマートウエルネスあさひかわプラン~『歩く』ことから始める健幸づ くり」を新たに策定。「歩く」ことをきっかけにした活動量の増加と、国民病とい えるがんへの対策などを通し、健やかで幸せな生活である「健幸」を実現しましょ 【詳細】健康推進課盦25・6315

あさひかわ健康マイレージ ポイントをためて賞品をG ET!

検診の受診や健康イベントへの参加、ウオーキング、禁 煙などに取り組むと、ポイントが加算されます。10ポイン トためて応募すると、抽選で協賛企業の賞品が当たります。 来年度からは、アプリにリニューアルする予定です。

対象期間 令和5年1/1~12/31



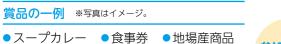


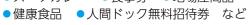






こちらから

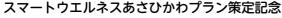












健幸づくり講演会 参加無料

~今日からはじめる健康づくりとがん予防

とき 8/29(火) 14:00~16:00 **ところ** 大雪クリスタルホール (神楽3の7) 申込方法 電話か下記申込みフォームから

第2部





高齢社会の地域包括ケアと 健康づくり

旭川市政アドバイザー (元厚生労働省健康局長)



がん予防におけるがん検診の役割 (公財)北海道対がん協会会長 加藤元嗣さん

【詳細】 旭川がん検診センター 653・7111



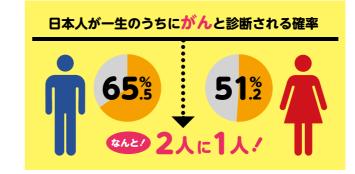
今日から始める健康づくり!

早期発見・早期治療のために

がん検診を受けましょう!

日本人の2人に1人は生涯でがんになります。

旭川市民の死因の第1位は「がん」です。国立がん研究 センターによると、日本人が一生のうちにがんと診断され る確率は男性65.5%、女性51.2%。がんは、検診などに よる早期発見と早期治療が肝心ですが、第2次健康日本21 旭川計画では、検診受診率の低下が課題となっています。



※2019年データに基づく。



がん検診費用の約8割を旭川市が負担。 がん検診を安価に受診できます。



1日何歩、歩いていますか?

同プランでは市民の平均歩数の増加を目指しています。 ご自身の歩数は、地域情報を共有する「あさひかわ くら しのアプリ」でも確認できます。また、同プランの「歩く」 には、活動量の増加や活動範囲の拡大という意味もありま す。外に出て活動すると交流が増え、生きがいにもつなが ります。



▶ 1人当たり1日プラス1,500歩を目標に! 歩数が増加することで、年間約3万5千円の医療 費抑制効果があるといわれています

(厚牛労働省の医療費データを基に国土交诵省が算出)

▶60歳以上では1日6,000歩、60歳未満では1日 8,000歩を歩くことで死亡リスクが半減します (米国などの国際チームによる研究発表)

あさひかわを歩こう! 屋内外で歩ける市内のスポットを 一覧にして紹介しています





19 こうほう旭川市民 2023(令和5)年●8月 18 こうほう旭川市民 2023(令和5)年●8月